

# 人をつなぎ、未来へつなぐ豊橋のESD

## 豊橋市のESDの経緯

豊橋市は、平成12年度から、学校・家庭・地域のつながりの再認識・再構築を旨とし、それぞれの校区に根付いた固有の風土や歴史、その地域の財産を大切にしながら、特色ある学校づくりを推進してきた。その後、平成26年に名古屋市で開催されたユネスコESD世界会議を機に、市内の小学校52校、中学校22校と愛知県立豊橋聾学校、豊橋中央高等学校を含めた76校がユネスコスクールに加盟している。

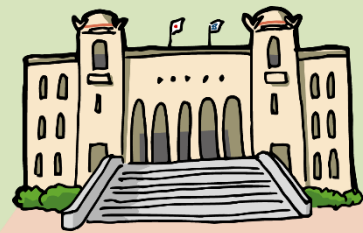
ESDの理念を共有し、今まで取り組んできた特色ある学校づくりにおける取り組みを、ESDの視点で見直し実践してきた。



## 豊橋市が目ざす子どもの姿

ESDを推進するにあたり、目ざす人物像を「心豊かで、夢と志をもち、ともに生きる人」とし、以下の4点を掲げている。

- ・自然界にあるすべてのかけがいのない「いのち」を大切にする。
- ・思いやりの心と健康な体をもち、自らの夢の実現に向かって努力する。
- ・豊橋を愛し、互いに支え合い協力しながら、地域文化の継承と発展に尽くす。
- ・互いに信頼し尊重し合う心をもち、世界に視野を広げて未来に貢献する。



## 豊橋市の取り組み

### ユネスコスクールネットワークの構築

特色ある学校づくりを通して、地域で育てる風土を大切にしたい地域ぐるみの教育システムを構築している。学校と地域をつなぐネットワークをさらに確かなものにする。また、学校間や異校種、関連団体とのネットワークを整備する。これにより、ESD活動の交流が広がり、様々な情報を共有して、より深まりのある学習活動を保障する。



### ESDの視点での

### 教育課程・教育活動の見直しと充実

- ・特色ある学校づくりにおける行事や総合的な学習などを「持続可能な社会づくり」の視点で、子どもたちにとって必要な能力・態度を明確にする。
- ・ESDの視点での見直しを図り、安心安全な学校づくりをする。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて「問題解決的な学習」について充実を図り「生きる力」を育む。



### ESD担当者研修会・地域ボランティア研修会

- ・学校でESDの推進役である担当者が、ESDの理念や意義を再確認し、各学校の教職員に浸透させる。
- ・地域教育ボランティアや校区自治会などの地域の方が、ESDについて理解を深め、ユネスコスクールへのかかわり方を考える。